

## 事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2022年3月15日

事業所名 いぶき園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	プログラムや利用者さんの状態に合わせて、その都度机等の配置を変えて、適切な環境で活動を行っています。 また、クールダウンが必要な方においては、必ず個室が提供できる環境を設定しております。
	②	職員の配置数は適切であるか	法定基準を上回った職員配置を維持し、濃密な関わりを心掛けております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	玄関に段差がありますが、ご利用中の皆さんの活動には支障はありません。今後、配慮が必要な方がご利用の際は、適宜環境の整備を行っていきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	職員会議・支援会議・日誌の回覧などを通し、PDCAサイクルを繰り返すことで、継続的な業務改善を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様からのご意見や、評価表の回答は職員間で周知し、意識の改善や事業所の目標設定の1つとして役立てています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	HPIにて公表しています。

⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価は形式的には行えてはいませんが、他事業所の職員にアドバイスを積極的に求め、業務改善に繋げています。	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	毎月の職員会議や職員研修等で、学び・考え・話す機会を設け、職員の資質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	他事業所との連携や保護者さんとの面談を通して、より細かなアセスメントが取れるように努めています。その後の職員会議にて、偏りのない支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	全利用者さんに同一のアセスメントシートへの記入をお願いし、それを使用し評価しています。評価の仕方は、利用者さんの状況に応じて工夫しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	毎月の職員会議にて、PDCAサイクルにのっとり積極的に活動プログラムの改善に取り組んでいます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	事業所の状況や利用者さんの状態を考慮し、個々に合わせた個別課題の用意やその場に合った適切なプログラムを柔軟に対応提供できる様な準備を常に心がけています。また毎月の職員会議にて活動の振り返りを行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休暇においては、ハイキング・工場見学等を取り入れ、様々な経験ができるよう支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	生活面・活動面・コミュニケーション面等において、利用者さん一人ひとりのニーズや個々の課題・可能性を様々な視点で組み合わせ、偏りのない支援計画を作成しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	開始前にスタッフ間で打ち合わせを行い、その日の流れ・前日の様子等の情報を周知共有しています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	利用者さん帰園後、振り返りの時間を設けています。その際気になったことや良かったこと・反省点などを記録に記入し、次の支援に繋がられるようにしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	終了後、利用者ごとに活動の様子を記録しています。またミーティングにてその記録を検証し、改善を行っています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	支援会議やミーティング等で挙げた内容に基づき、半年に1度計画の見直しを行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	基本活動に基づき記入されている内容を複数組み合わせ、日常生活の機能向上から余暇の交友関係の促進まで様々な支援を行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	主に児童発達支援管理責任者が会議に参画しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校側や他の事業所とも連携し情報を共有して、個々の希望や状況に応じた柔軟な対応が出来る様にしています。 口頭や電話・メールにて先生や保護者の方と、児童の様子や行事予定・下校時刻の調整等、情報共有に努めております。急な変更にも連絡を受け次第、出来る限り対応しています。 下校時に必ず申し送りを受けていますが、下校時刻や行事の有無などは適宜連絡を取り合っています。

関係機関や保護者との連携  
関係機関や保護者との連携  
関係機関や保護者との連携

②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	現在、医療的ケアが必要な方のご利用はありません。今後、配慮が必要な方のご利用される際は、適宜連絡体制の整備を行っていきます。
②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	利用開始前に、過去に利用されていた事業所との情報共有や連携・アセスメントに努め、事前に理解を深める事が出来る様にしています。
②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	必要に応じて会議へ参加し、求められた情報は提供しています。
②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	児童発達支援センターとの連携を図っています。
②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	散歩や美化活動をする中で地域の方々と挨拶を交わし、交流をしています。
②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	今後は積極的に参加の機会を増やしていきます。
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	帰宅時にその日の様子を伝え、保護者様からも話を伺うことで共通理解を図っています。
②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	家庭での悩みや、関わり方等、個別に相談があった際には、その都度時間を設けお話を伺っております。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	ご利用契約時に資料と共にお伝えしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	家庭での悩みや、関わり方等、個別に相談があった際には、その都度時間を設けお話を伺っております。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者会等の活動は現在行っていません。しかし保護者の方にお迎えに来ていただき、その機会に親交を深めてもらっています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情受付担当者を制定し、適切な対応を心掛けています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	月に一回お便りを発行し、活動の様子などをお伝えしています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	契約時に個人情報取り扱いの同意書を取り交わしております。個人情報は鍵のかかる場所に保管し、廃棄する際はシュレッダーに掛ける等、注意して管理しています。また、情報を無暗に外部へ持ち出さない取り組みも行っております。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	書面・写真カード・シンボルカード等の支援ツールを取り入れ、情報伝達の為の工夫と配慮を行っています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	散歩や地域の美化活動を行い地域の方との交流を図っています。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	各種マニュアルは策定し、玄関や事務所など常に確認できる場所に掲示してあります。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	月に1回の避難訓練・消火訓練・年2回通報訓練を行なっています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年1回法人主催の虐待防止研修(権利擁護研修)や必要に応じて外部研修に参加しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束対応について個別支援計画に記載し、保護者様から了承を頂いています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	入園前にアレルギー有無についてのアンケートを行なっています。対象の方へは、医師の指示書に基づく対応を行います。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	実際のケースまたは想定される事例をもとに、より多くの職員が作成できる体制づくりに努めています。